



『振り返り』を大切に

令和4年も間もなく終わろうとしています。2学期の始業式の際に、『つながること』と『体験すること』に積極的に取り組んで欲しい。行事等はもちろんのこと、他者を慮って仲間や社会とつながること。そして、これまでやったことのないことや苦手なことも含めて、多くのことを体験して欲しい。」と伝えました。おそらく多くの生徒のみなさんが、このことを実現できたの



ではないでしょうか。そのことで、とても充実した2学期になったと感じています。2学期の終業式は、今年度も残念ながらオンラインでの実施となります。以下にその内容をお伝えします。

2学期には様々な行事や大会等がありましたが、生徒のみなさんが、何事にも意欲的に取り組み体験できたこと、そして仲間とつながれたことを、大変嬉しく思っています。それらを通して得られたことは、きっとみなさんの今後の人生において役立つものとなることでしょう。

さて、何事にも節目があます。あたり前のことですが、すべてのことには終わりがあります。2学期は今日で終わります、今月末に今年が終わります。そうした機会に、是非自分の毎日を振り返ってみてください。落ち着いて自分を振り返ることで、うまくいっていることは更に伸ばすことができますし、課題となっていることについては、その改善に向けて具体的に何をすれば良いかについて、考えることができます。**自分の将来に「見通し」を持つためには、この「振り返り」がとても重要となります。**本当は、このことを毎日意識しながら生活できると良いですが、少なくとも節目の際には、じっくりと考えてください。きっとみなさんの成長につながります。

毎日の授業においても『振り返り』をしていると思います。「その時間に何がわかったか、何ができるようになったか」逆に「何がわからなかったか、何ができなかったか」を、客観的に振り返り把握し、具体的に考えることで、次の授業をより充実したものにすることができます。

もう一つは、「自分を大切にしてお過ごししてほしい」ということです。冬季休業中はいろいろな意味で普段とは違います。生活のリズムも変わってきます。しかし、どのような状況にあっても、「自分を大切にすること」をしっかりと考えていけば、大きな問題となることはありません。**『自分の生命や心は自分で大切にすること』、そして『周りの人の生命や心も大切にすること』ももちろん大切です。**みなさん一人ひとりが元気でしあわせに過ごしていることは、ご家族のみなさんはもちろんのこと、周りの仲間や先生たちにとっても、うれしく、しあわせなことでもあるのです。ご家族とのふれあいも大切に、有意義な冬季休業にしてくれることを願っています。

「表彰伝達」について

終業式の前に表彰伝達を行います。スポーツに文化に、多くの生徒のみなさんが活躍しました。全員を表彰したいところですが、時間の関係上、代表の人だけとなります。申し訳ありません。各教室から、精一杯の拍手で、仲間の努力や成果を讃えてあげて欲しいと思います。

この「学校通信」の紙面においても、できるだけお伝えしてきましたが、そのすべてを記載することはできなかったと思います。紹介できなかったみなさん、申し訳ありませんでした。

ひたむきに取り組む生徒のみなさんの姿をたくさん見ることができ、大変嬉しく思っています。

◇四日市ソフトテニス協会秋季選手権 中学生男子 【第3位】青波航汰・多田悠人ペア

◇令和4年度第1回三泗地区中学生ソフトテニスリーグ戦大会 【Bリーグ優勝】

◇第103回北勢地区6人制ジュニアバレーボール大会 【優秀選手】山本來輝

◇第38回四日市文芸賞 ジュニア小説部門 【優秀賞】濱口天斗

◇第68回青少年読書感想文コンクール地区審査 【入選】神谷美空、大井玲菜、近藤真弘

◇令和4年度三泗地区学校保健表彰 加藤楓磨

ICTについて その②（SNS等利用の際のモラル）

前号で、『ICTについて』お伝えしましたが、今回は日常の生活におけるICTの活用についてお話しします。『通信サービス』には、電話、ビデオ会議、電子メール、ファックスなどがありますが、一番身近なのは「SNS」や「メール」でのやりとりではないでしょうか。

瞬時に、世界中のどこにでも、簡単にメッセージを送れるといった点で大変便利です。活用することで、ビジネス上だけでなく、仲の良い人とのコミュニケーションを図ることができます。

しかし、その便利さの裏側には、気を付けないといけないことがたくさんあるのも事実です。
瞬時に届くということは、受信する側の都合や気持ちに関わらず届くということです。また、一度ウェブ上に載せた内容は、簡単に消すことができません。その内容が、相手を誹謗中傷するもの（傷つけたり、嫌な思いにさせたりする）であった場合は取り返しがつかないことになります。

ICTに限らず、便利なものにはその裏腹に危険性が伴うものです。また活用する際には責任が伴いますから、常に「他者に迷惑をかけない」「他者に嫌な思いをさせない」といったことを、しっかりと認識した上で活用するべきです。このことは、毎日の生活においてもまったく同じことが言えます。「他者に迷惑をかけない」ことは、社会人として最も大切にすべきことです。
終業式の話にもつながりますが、「論語」にある「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」、つまり「自分が人からされたいやだなと思うことは、人にはしてはいけません」ということです。

コロナウイルス感染症に関して

残念ながら、市内の小中学校においても、感染者数が多い状況が続いています。いつ誰が感染してもおかしくない状況にあります。また、今年の冬はインフルエンザとの同時流行が懸念されています。引き続き以下のような、感染防止対策の徹底をお願いします。

①感染防止対策の徹底の継続 ※手洗い、うがい、3密回避、換気、マスク着用、

②健康管理、健康観察の徹底の継続 ※発熱等は報告してください ※年末年始は除きます

③不特定多数の人と接触するような行動は、極力控える ※不要不急の外出は控える